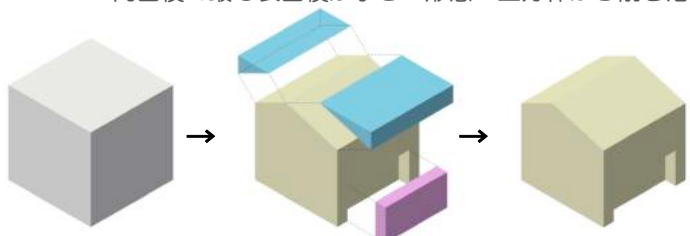


よく手入れのされたベニカナメモチの生け垣が並ぶ静かな住宅街に
周辺既存住宅から抽出したカラーリングと家並みに馴染む形態



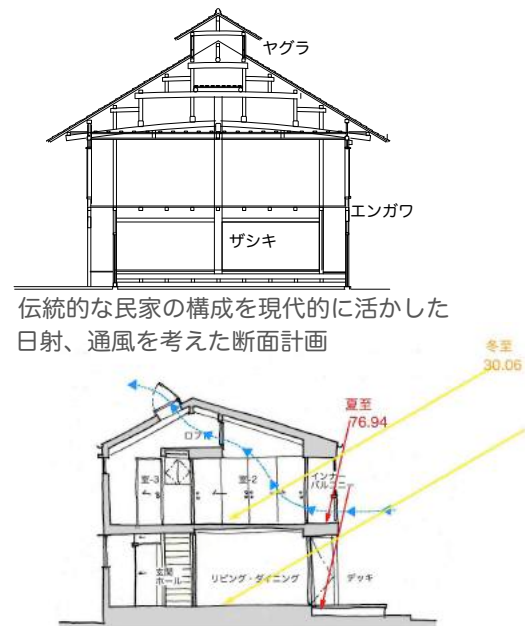
既存のベニカナメの生垣とハナミズキを活かした街並保全
同面積で最も表面積が小さい形態：立方体から削ぎ落とす



熱負荷を小さくするための建物形態

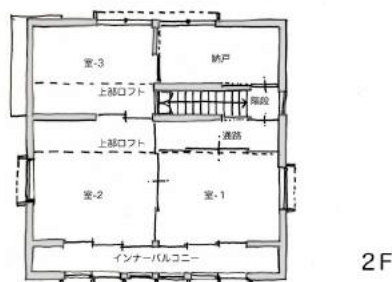


南面の大開口
冬期の日射取得／夏期は簾による日射遮蔽



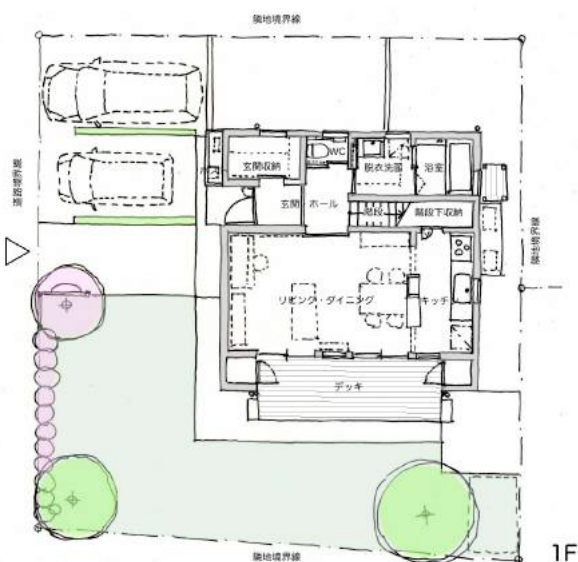
伝統的な民家の構成を現代的に活かした
日射、通風を考えた断面計画

木製バルコニーを室内化したインナーバルコニー
環境調整のバッファーゾーン & 耐久性向上



2F

田の字プラン＆可動建具による可変性



1F



ロフトの天窓による採光と通風



ランマによる通風：引き戸と引き欄間パネル



ライフステージに合わせて可変できる個室と実質床面積以上の広さを実感出来る断面構成によりシンプルでコンパクトに住むためのプロトタイプ住宅

建築作品部門

低炭素型社会の推進

建築物の低炭素化の推進 低炭素型のライフスタイルの推進

群馬県 前橋市

ベにかなめのいえ

群馬の地域性をいかし、光と風と街並に配慮した長寿命住宅

閑静な既存住宅地での建て替え計画

街並みに配慮し、地域性を生かした長く使い続けられる住宅作ろうと考えた。既存街並みに溶け込むために勾配屋根、周辺建物からサンプリングした色彩計画を用い、新しい形態・現代的なデザインでありながら周辺環境に調和した計画とした。生垣を連続させ、道路側に空地を取ることで良好な街並みの保存にも務めた。

養蚕農家や民家に見られる、引き戸によるフレキシブルな内部空間、日射を上手く利用した縁側空間、換気のための天窓を現代的に置き換えた、光と風を生かした可変性をもった内部空間を持つことで、長く使い続けられる住宅とした。シンプルかつコンパクトに住むためのプロトタイプ住宅とするため、間仕切りを可変とすること、ロフトを生かした立体的な構成とすることで、実面積以上に広く、豊かに使える計画とした。総二階のコンパクトな形態は熱環境的にも有利で省エネ住宅の基本形となりうるプロトタイプとしても考えた。

応募代表者： 曾田 彰

1963年 群馬県生まれ
1982年 群馬県立前橋高等学校卒業
1987年 千葉大学 工学部 建築学科卒業
1987年 吉沢都市建築設計事務所
1996年 福島建築設計事務所
2005年 ソダアキラ建築設計事務所設立

一級建築士事務所

ソダアキラ 建築設計事務所
Akira Soda Architect & Associates

建築には建物としての性能と共に広い社会性が求められています。また様々な与条件への解答と共に、美しくあることも必要と考えます。建物単体での満足や快適性に留まらず、環境への調和や社会との関係性に配慮し、美しい町づくりに寄与出来る、そんなモノづくりを、施主、施工者と一緒に考え、進めてまいります。